

2019年03月(11編)

2019年3月1日のアーカイブ

[「梅一輪いちりん程の暖かさ」in スパー](#)

今日から3月、米朝会談の騒ぎのあと今日は「抗日運動100周年」、朝鮮半島の一日も早い平和を願う。

梅がほころび春本番も近い。

今日のスパー行は入浴前に温泉の別棟にある「LAMP HOUSE」でランチ。

私はメインに「鉄板ロコモコ」、ワイフは「カルボナーラパスタ」。

入浴はランチのあと。

帰り際、中国の観光客がドットやって来た。





2019年3月1日 カテゴリー：フード 投稿者：yuyu-sha 編集

2019年3月7日のアーカイブ

英国総督/最後の家★ウィンストン・チャーチル/ヒトラーから世界を救った男

「チャーチルの時代」のイギリス映画二作。



英国総督 最後の家

第二次世界大戦後のインド。

イギリスの植民地支配を脱し、分離独立(インドとパキスタン)を目指すネール。

分離に反対するガンジー。

イギリス総督家族それに庶民たちの輻輳する感情や思惑を混沌としたインド社会に映し出している。

インドの「夜明け前」を描いて感動的。

・監督・脚本：グリンダ・チャーダ
・出演：ヒュー・ボネビル／ジリアン・アンダーソン／マニシュ・ダヤル／フマー・クレイシー／マイケル・ガンボン

・2017年／イギリス／Viceroy's House

ウィンストン・チャーチル ヒトラーから世界を救った男

第2次世界大戦下のイギリス。

ナチスに屈しなかったウィンストン・チャーチルの気骨と大英帝国の意地を映し出す。

・監督・脚本：ジョー・ライト
・出演：ゲイリー・オールドマン／クリスティン・スコット・トーマス／リリー・ジェームズ／スティーブン・ディレイン／ロナルド・ピックアップ

・2017年／イギリス／Darkest Hour

(於いて；湊川パルシネマ)

2019年3月7日 カテゴリー：鑑賞(映画・演芸 etc.) 投稿者：yuyu-sha 編集

2019年3月8日のアーカイブ

温泉通いの工程

温泉に行く日は判で押したような生活をする。

午前11時出発、ゆるい坂道を20分ほどウォーキング。

11時半頃から入浴、1時間程度。

午後1時頃ランチ。

今日は施設内の「山水草木」で。

此処は大阪、東京やニューヨークに店を構える「つるとんたん」と同じ経営。

2時頃から休憩室で午睡。

3時過ぎスパーをあとに帰路に、往復五千歩。



2019年3月8日 カテゴリー：[スパー](#) 投稿者：[yuyu-sha](#) [編集](#)

2019年3月14日のアーカイブ

[判決、ふたつの希望 & 空飛ぶタイヤ](#)



判決、ふたつの希望

レバノンのベイルート。

レバノンとは地中海、イスラエル、シリアに接した中東の国。

レバノン人とパレスチナ難民のいさかきが法廷で裁かれる。

傷つけた加害者に無罪判決。

裁判所の言い分は「暴言は暴力より罪」。

今なお中東戦争を引きずるこの地の確執は根深い。

- ・ 監督・脚本：ジアド・ドゥエイリ
- ・ 出演：アデル・カラム／カメル・エル・バシヤ／リタ・ハーエク／クリスティーン・シュウェイリー／カミール・サラーム
- ・ 2017年／レバノン・フランス合作／L' 'insulte

空飛ぶタイヤ

池井戸潤の小説の映画化。

車の脱輪事故で人をあやめ、整備不良を問われた運送会社社長が汚名を晴らすためひとり大手自動車メーカーの中枢部に迫る。

大企業の闇を照らし、働く意味を問うている。

- ・ 監督：本木克英
- ・ 出演：長瀬智也／ディーン・フジオカ／高橋一生／深田恭子／岸部一徳
- ・ 2018年／日本

(於いて ; 湊川パルシネマ)

2019年3月14日 カテゴリー : [鑑賞\(映画・演芸 etc.\)](#) 投稿者 : yuyu-sha 編集

2019年3月20日のアーカイブ

戦後の分岐点・三池闘争と安保闘争

戦後15年、世の中も落ちついて来る頃。

日本を揺るがす大きな出来事が起こる。

三井三池闘争と60年安保闘争。

こののち権力は労働組合・教育・マスコミに狙いを定め、これらの反動化に血まなこになる。

愚生、15歳。

三井三池闘争

1953年のストライキ以降、経営合理化が進まない三井鉱山の経営はますます悪化していった。このため、三井

鉱山は三池炭鉱からの活動家の一掃を決意し、1959年（昭和34年）11月19日、6000人の希望退職を含む会社

再建案を提示した。同年8月29日には4580人の人員削減案を発表。続いて12月2日・3日には1492人に退職を勧

告し、これに応じない1278人に対し12月11日に指名解雇を通告した。

労組側はこの措置に反発し、無期限ストに突入した。一方、会社側も経営再建の決意は固く、三池鉱山のロックアウトと組合員の坑内立ち入り禁止でこれに対抗した。財界が三井鉱山を全面的に支援した一方、日本労働組合総評議会（総評）は三池労組を全面的に支援したため、三井三池労組は「総資本対総労働の対決」などと

呼ばれた。（[Wikipedia](#) 最終更新日 2018.12.05）

60年安保闘争の激化

・・・「民主主義の破壊である」として一般市民の間にも反対の運動が高まり、国会議事堂の周囲をデモ隊が連日取り囲み、闘争も次第に激化の一途をたどる。反安保闘争は次第に反政府・反米闘争の色合いを濃くしていった。これに対して岸首相は、警察と右翼の支援団体だけではデモ隊を抑えられないと判断し、児玉誉士夫を頼り、自民党内のアイク歓迎実行委員会委員長の橋本登美三郎を使者に立て、暴力団関係者の会合に派遣した。松葉会の藤田卯一郎会長、錦政会の稲川角二会長、住吉会の礪上義光会長、「新宿マーケット」のリーダーで関東尾津組の尾津喜之助組長ら全員がデモ隊を抑えるために手を貸すことに合意した。

さらに右翼と暴力団で構成された全日本愛国者団体会議、戦時中の超国家主義者もいる日本郷友会、岸首相自

身が1958年に組織し木村篤太郎が率いる新日本協議会、以上3つの右翼連合組織にも行動部隊になるよう要請した。当時の「ファー・イースタン・エコノミック・レビュー」には「博徒、暴力団、恐喝屋、テキヤ、暗黒街のリーダー達を説得し、アイゼンハワーの安全を守るため『効果的な反対勢力』を組織した。最終計画によると1万8000人の博徒、1万人のテキヤ、1万人の旧軍人と右翼宗教団体会員の動員が必要であった。彼らは政府提供のヘリコプター、小型機、トラック、車両、食料、司令部や救急隊の支援を受け、さらに約8億円（約230万ドル）の『活動資金』が支給されていた」と書かれている。（[Wikipedia](#) 最終更新日 2019.01.21）



↑三井・三池闘争

60年安保↓

(毎日新聞)



2019年3月21日のアーカイブ

クルーズ船・セブンシーズマリナー

久しぶりに神戸港で観船。

神戸港、新港ポートターミナル。-

5万トンクラスで全室バルコニー付き。

明日上海へ。



2019年3月21日 カテゴリー：[ぶらっと神戸](#) 投稿者：yuyu-sha 編集

2019年3月22日のアーカイブ

寒の戻り

寒い!

風が吹く中、入浴と食事それにウォーキング。

有馬街道の坂道を踏みしめながらイチローの引退を思う。

記者会見で今後について、草野球を極めたい旨の発言。

あい変わらずシヤレたことを言う。



2019年3月22日 カテゴリー：[スパ](#) 投稿者：yuyu-sha [編集](#)

2019年3月23日のアーカイブ

椿咲く春なのに～



今日も冷える。

小さい庭にツバキが花を咲かせ始めた。

淡路の庭に咲いていたツバキは寒椿か?もう咲き終わっている。

この地のツバキは来週が見頃か。

2019年3月23日 カテゴリー：[雑感](#) 投稿者：[yuyu-sha](#) [編集](#)

2019年3月27日のアーカイブ

[イチローのいた Kobe](#)

Ichiro Suzuki



シアトル・マリナーズ時代
(第1次在籍時) < Wikipedia)

イチローが引退した。

東京ドームの MLB 公式戦後、記者会見に臨んだイチローはあまり見せることのなかった「ホンネ」を語った。

会見を見て思うのは、哲学的言辞のイチロー節に変わりがなく、神戸への熱い思いも揺るぎない。

会見で幾多の含蓄のある言葉を発したが、その中から一つだけ記しておこう。

次のような内容だったと記憶している。

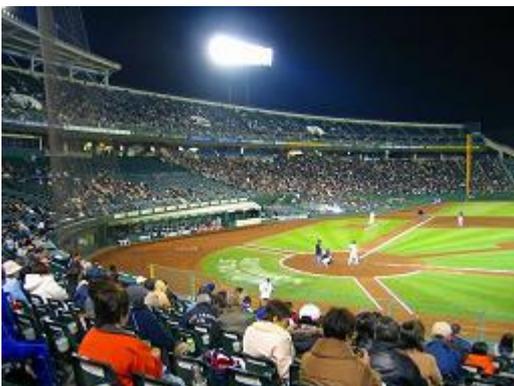
誇りについて記者から聞かれたときか？ 「記録など小さなこと、いつか越される。昨シーズン、ゲームへの出番を絶たれていながらチームに帯同し、毎日練習したことは自分にしか出来なかったことかな、それを少しだけ誇りに思う。」

私がイチローの虜になった頃の一文がある。

以下にその時のブログを再掲する。

イチローのいた日

今、イチローを再評価するマスメディアが目立つ。



巷ではイチロー論がかまびすしい。

1994年暑さの残る秋はじめ、イチローが日本プロ野球史上初のシリーズ200本安打を、振り子打法で打ち放つ瞬間に立ち会う幸運に恵まれた。

その日私は仕事をしながら、イチローの200本安打を予感した。定時のサイレンを待たず、会社を飛び出し球

場へ向かう地下鉄に乗った。

たしかまだ3本のヒットが残っていた。1、2、3打席と連続してヒットを打ち、すんなりと200本安打を達成した。2塁ベース上で花束を手にし、野球少年のような顔を見せてイチローは、観衆の声援に手を上げて応えた。

その時からイチローのいる球場へ度々通った。彼の一挙手一投足が絵になった。バッティング、守備そして走塁において卓越した才能を魅せてくれた。その立ち居振る舞いの美しさは、アスリートと言うよりも、美を全身で表現するアーティストに思えた。特に私を魅了したのは、塁間を駆け巡るランニングに見せる、背筋を張ったフォームである。国際大会（WBC）で見たイチローは風の抵抗を避けるためか、前かがみ加減に変わっていた。年月を経て形よりも実を取るようになったのか、少し寂しい気がする。寂しいといえばバッティングフォームも変わった。動きながら軸足を左足から右足に移す振り子打法はもう見られない。

1995年神戸が震災に遭った年、リーグ優勝にマジック1と迫ったロッテ3連戦に、連敗したあとの最終戦を観た。

イチローが1回裏デッドボールを受け、先行きに影を落とした。

案の定オリックスは負け、優勝を西武球場に持ち越した。

負けても荒れることなく整然と選手に拍手を送り続けたファンに、イチローは感謝とここでプレーできる幸せを述べた。

二十歳過ぎの青年に言える言葉でない。

アメリカへ行く前の年の2000年、日本で最後のプレーとなった年の夏、ライトスタンドでイチローを観た。右中間深く打たれたボールを目で追うことなく疾走した。

フェンスの前でくるっと180度回転したイチローはグラブを頭上に差し出した。

測ったようにボールがグラブに吸い込まれた。

その年を最後にイチローは海を渡った。

イチローのいた日、私は母の作ったグラブでスポンジボールを追った少年の日に還った。

投稿者 [愉悠舎](#) 日時 [2006年3月23日 \(木\)](#) [ふし穴談義](#) | [個別ページ](#)

2019年3月27日 カテゴリー：[無題](#) 投稿者：[yuyu-sha](#) 編集

2019年3月28日のアーカイブ

[泣き虫しょったんの奇跡&わたしたち](#)



泣き虫しょったんの奇跡

プロの将棋士になるための壁26才の前に挫折したものの、特例を認めさせプロになった瀬川昌司六段の自伝的ドラマ。

年齢制限を超えてプロの棋士になった人は二人、戦後は彼ひとり。

松田龍平が魅力。

- ・監督・脚本：豊田利晃
- ・出演：松田龍平／野田洋次郎／永山絢斗／染谷将太／渋川清彦
- ・2018年／日本

わたしたち

いじめ社会を扱った韓国映画。

劇の中に入って行けなかったので、中座。

- ・監督・脚本：ユン・ガウン
- ・出演：チェ・スイン／ソン・ヘイン／イ・ソヨン／カン・ミンジュン／チャン・ヘジン
- ・2016年／韓国／The World of Us

(於いて；湊川パルシネマ)

2019年3月28日 カテゴリー：鑑賞(映画・演芸 etc.) 投稿者：yuyu-sha 編集

2019年3月29日のアーカイブ

アラビア海の太刀魚



神戸のスーパーは魚売場。

太刀魚の切り身を売っていた。見てビックリ！

アラビア半島のオマーン産。

海外から太刀魚が入って来ていると聞いていたがオマーン産とは。

サテサテどんな味がするやら？

2019年3月29日 カテゴリー：雑感 投稿者：yuyu-sha 編集